

院内クラスター発生後の経過報告(第3報)

当院の成人1病棟において、1月12日から3日間で入院患者計6人に相次いで感染が確認された院内クラスターについて、その後の経過を1月21日に病院ホームページでお伝えしましたが、同病棟において新たな感染者の発生がありましたのでご報告いたします。

1月22日に新たに、クラスター発生病棟の入院患者1人の感染が確認され、濃厚接触の可能性がある患者・職員あわせて30余人に検査を行ったところ計4人の患者に感染が確認されました。

1月23日には検査範囲を同病棟の患者全員と職員全員に拡大し、職員からも3人の陽性者が確認され、感染者は合計13人(患者10人、職員3人)となりました。

感染が判明した方々の、新型コロナウイルス感染症自体の症状は無症状から軽症程度で、重篤な症状のかたはおりません。

日付	新規陽性者 (患者)	新規陽性者 (職員)	陽性者 累計	隔離解除者 (治癒)
1/11	-	-	-	-
1/12	2	0		
1/13	3	0	5	
1/14	1	0	6	
1/15	0	0	6	
1/16	0	0	6	
1/17	0	0	6	
1/18	0	0	6	
1/19	0	0	6	1
1/20	0	0	6	1
1/21	0	0	6	0
1/22	4	0	10	0
1/23	0	3	13	0
1/24				
	計10人	計3人	計13人	計2人

当該病棟では1月12日以降、新たな入院患者の受入れを中止し、関係職員以外の出入りを禁じて、感染症管理チームの指導の下に厳重な感染拡大防止対策を行っておりましたが、感染を抑え込むには至らず、みなさまにもご心配をおかけし申し訳ありません。今後、同病棟では、職員全員に対し勤務開始前に毎回抗原検査を行い、入院患者に対しても定期的に検査を行うなど、対策をいっそう徹底してまいります。

令和4年1月24日
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
院長 和氣 亨